

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人誠心会	代表者	前原 くるみ	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中で安心して暮らしていけるように、地域の力をつなぎ、「あったか地域で、あったか交流、みんなでつくろうあったかの輪」を作り上げ、利用者個々が尊厳のある暮らしが送れるように支援する。</li> <li>・事業所特有の理念「思いや願いを安心に変え、笑顔の輪を広げます」を元に、職員全体が同じ意識で取り組んでいきます。</li> </ul>
事業所名	小規模多機能ホーム百佑	管理者	上口 真由美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	2人	1人	人	人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	業務中に、情報や意見が言える時間を数回もつことで、情報共有ができ、利用者への対応が統一できるように心がける。	・訪問時での利用者の変化等、報告・共有し、その都度対応できていた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様の思いや目標はケアプランを見て理解してもらえばいいのでは。</li> <li>・ベテランの職員が手本になり新人職員を育成していけばいい。</li> </ul>	一人一人の利用者様の思いや目標を実現できるように、職員間で情報を共有し、実行できない職員がいた時はお互い助け合い実現できるように協同作業を行う。職員の質の向上のため、勉強会や研修等を開催する。
B. 事業所のしつらえ・環境	コロナに対しての扱いは緩和になっていくが、感染拡大防止を徹底するために、引き続き環境整備に努めていきたい。地域の奉仕作業には出向く事ができないので、事業所周辺は常に掃除し、花を育て、好印象を持って頂くように努めていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の奉仕作業には参加することができた。</li> <li>・玄関先は花を植え飾ったりし、環境整備・掃除は毎日行った。利用者、ご家族からも花を提供されたり、「花がきれいに咲きましたね。」と言葉をかけられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備は今までと同様継続していけばいいと思う</li> <li>・面会や見学に来た家族に随時意見をもらうのもいいと思います。</li> <li>・道路側から見える建物は好印象です。</li> </ul>	引き続き環境設備に努め、面会に来られたご家族などから、意見を頂きながら良い印象をもってもらえるように努めていく。
C. 事業所と地域のかかわり	コロナ禍で地域との交流が困難ではありますが、感染対策を継続しながら、少人数から参加を試みる。屋外のイベントは距離を置き、参加できるように取り組みたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族会を計画していましたが、実施できませんでした。地域へのドライブや初詣などに利用者とは出かけ、地域の方とのふれあいができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントなどの参加も必要ですが、園外レクなどのドライブ等で近隣の小さな付き合いから進めていいと思います。</li> <li>・運営推進会議等に参加することで事業所の事が見えてきて理解できますが、接する機会がないと関わりはないと思います。</li> </ul>	地域周辺の散歩やドライブを行い、地域の方とふれあう機会を作り、地域のイベントなど少しずつ参加できるように取り組みたい。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	それぞれ地域資源を知り得たときには職員間で共有し、業務に活かしていく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知り得た地域資源等は申し送りなどで共有できている。</li> <li>・地域で決まっているゴミ捨ての指定曜日にだせない時は自治会長、民生委員、近隣の方に相談し、指定曜日以外にゴミを出せるようにはできた。</li> </ul>	介護サービスを利用していることを確認できたら、近隣の方、地域の方は気にされなくなるので、注意が必要だと思います。	利用者様の自宅を訪問した時に近隣、地域の方と接する機会があれば、ご自宅での利用者様の状況などを情報収集し、職員間で情報共有していく。利用者様が参加されている地域のイベントを把握する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	引き続き年6回の運営推進会議を開催できるように努め、ご家族、地域住民の方にたくさんの意見を頂けられるように質問内容を具体化していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年6回運営推進会議を開催することができ、意見をもらうことができた。R5年より自治会長さん、民生委員さんが変更になりましたが、参加していただき、意見がありました。</li> </ul>	今まで通りでいいと思います。利用者様に参加されるのであれば、発言できる機会を作ってあげたらいいと思います。	運営推進会議への参加を全職員ができるように取り組み、会議時に地域の方の意見や助言を頂き、より良い事業所になるように努めたい。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>災害はいつ起こるか想定できないので、積極的に訓練に参加し知識を身につけていく。また日置市のハザードマップの存在を知らない職員もいるのでミーティングで周知していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回訓練を行い、参加できている。</li> <li>・ハザードマップの周知はしたが、興味のある職員しか見ていなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時、利用日ではない利用者様の対策も検討していたらいいと思います。</li> <li>・災害時、独居で訪問が必要な人のリストを作成する準備を行っています。</li> </ul>	<p>災害時の対策としてBCP（事業継続計画）を作成、研修や訓練を行った時はその都度見直しをする。 又、事業所の消防訓練に参加してもらえるようにアプローチしていく。</p>
----------------------------	--	---	---	--